



閉園式で園児・職員一堂による歌を披露

## 令和4年度おぐに保育園保育証書授与式（卒園式）・閉園式

最後の年長児16人が笑顔で卒園、巣立った卒園児は1,990人に

令和4年度おぐに保育園保育証書授与式（卒園式）と閉園式が3月25日に挙行されました。卒園式では、舟山真次園長から年長児16人が緊張しながらも、堂々と保育証書を受け取り、参列した保護者に立派な姿を見せていました。

その後、令和5年3月31日をもって昭和34年から64年間で卒園児1,990人を送り出した歴史に幕を閉じる同園の閉園式が行われ、在籍園児や職員のほか、歴代園長など約100人が出席しました。式典では、同園で32年間勤務され平成11年4月から11年間園長を務められた佐藤悦子さんが「おぐに保育園は閉園し



▲園児代表から仁科町長へ園旗返還

ますが、この園で育った子どもたちが世の中を支えている事実が変わりません。園児たちはこれからたくさんのお出合いを経験すると思いますが、保育園での絆を強め、成長していただきたいです。」とあいさつされました。

式典内で、保育園から仁科町長へ園旗が返還されたほか、同園の活動に協力したとして、今和永さん（小国小坂町）と永井博嘉さん（町原）に感謝状が贈呈されました。

また、3月18日、19日に各年代の保育写真や保育用品を展示し、園舎の一般公開をしたところ、約300人もの来場者が訪れ、園舎での思い出に浸るなど、当時を懐かしんでいました。



▲卒園式で将来の夢を堂々発表